

佳作

だいすきなばあば

東京都
星美学園小学校一年

高井 風佳

わたしのおうちには、おばあちゃんもいっしょにすんでいます。わたしはおばあちゃんのことを「ばあば」とよんでいます。ばあばのおなまえは「ふ」からはじまるので「ふうちゃん」とよばれています。わたしもみんなに「ふうちゃん」とよばれるので、わたしとばあばは「ふうちゃんチーム」です。わたしとばあばのへやはおとなりどうしなので、おおきなこえでよぶとすぐにおへんじしてくれます。ふたりはいつもなかよしです。

ばあばは、わたしががっこうに行くときにもいつもおみおくりをしてくれます。ばあばがおみおくりをしてくれるとき、わたしはすごくげんきになります。わたしががっこうからかえってくるときは、ばあばはいつもおうちでまっけてくれます。たまにバスでいまでおむかえにきてくれます。ばあばがまっけてくれると、すごくうれしくなります。

わたしがおべんきょうをしているときは、ばあばはしず

かにしてくれたり、あついひはせんぶうきをわたしのほうにむけてくれたりします。そうするとわたしはきもちがしつかりして、おべんきょうをがんばろうとおもいます。

わたしがちいさいときからずっと、いつもばあばはわたしのために、いろいろなことをしてくれます。わたしのために、じぶんのことよりわたしのことをいっしょうけんめいやつてくれます。

ばあば、いつもどうもありがとう。ばあばがわたしのためにいろいろやつてくれて、わたしはとってもうれいのです。わたしがおおきくなったら、ばあばがしてくれたのとおなじように、わたしもばあばのためにいろいろなことをしてあげたいとおもいます。

これからもふたりで、げんきでびょうきにならないようにきをつけて、いつまでもばあばといっしょにいたいのです。

わたしは、ばあばがだいすきです。
うれい。